

	市長	副市長	教育長	部長	課長	プラネタリウム	郷土資料館
決裁							

## 会議(打合せ) 報告書

会議名	平成28年度第1回会議白井市郷土資料館運営協議会						
場所	白井市文化センター2階研修室1	日時	平成28年6月10日(金) 15:30~17:00				
報告者	郷土・プラネタリウム班	職・氏名	主査補 芳賀 学				
出席者	(委員) 古里会長・横山副会長・倉田委員・石崎委員・小林委員・岩立委員・阿部委員・白田委員(8名)						
	(資料館) 染谷教育部長・小松参事(館長) 芳賀主査補・酒井学芸員						傍聴者

### 1 開 会

#### 染谷教育部長挨拶

今年度から、担当になりました。よろしくお願ひします。本来でしたら教育長が出席いたしましてご挨拶させていただくところでございますが、所用のため出席できませんので僭越ではございますが私の方から挨拶させていただきます。公私ともお忙しい中ご出席を頂き誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃から郷土資料館の運営及び事業にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

文化センターは、平成6年に開館以来22年目を迎えております。この間、郷土資料館としましては、常設展「白井のあゆみ」の整備や企画展を通じて白井の歴史や文化を市民の皆様にご伝える事業を行ってまいりました。

今後も引き続き委員の皆様にご意見を賜りながら、事業を進めてまいりたいと考えております。本日は、本年度第1回目の会議でございまして議題につきましては、平成27年度の事業報告及び平成28年度事業計画について、皆様の充分な審議を賜りますようお願い申し上げます。

最後に当館の運営に、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げご挨拶とさせていただきます。

### 2 会長挨拶

#### 古里会長挨拶

開館前に展示室を見学し本日の資料を見させて頂いて、当館も少しマンネリ化してきたかなという感じがした。私も、20年博物館に勤務していたがマンネリ化する時期があり、その時に何をしたかという、1つは普及活動の見直しを行った。もう1つは新しいアイテムの開発を行った。そろそろ、当館でもそのようなことを考えてもいいのではないかと考えた。それからもう1つは展示に関してある程度学芸員は固定していたから一巡してしまうとテーマ探しに苦労していたので、来館者にアンケートを取りまして直接反映は難しいが、一体市民の皆様はどういう展示を見たいのだろうかという事を一定期間取りまして、こういうことを臨んでいるんだなと把握してその後の計画に反映させていったという事があった。

そういうことで、当館もマンネリ打破の方策を考える時期ではないかと感じている。本日は事業報告と事業計画が議題に上っている貴重なご意見・ご指導をよろしくお願ひする。

### 3 議題(進行:古里会長)

#### (1) 平成27年度事業報告について

##### 【審議結果】

大きな指摘事項等は無し。以下のような意見をいただいたので、今後の事業実施の際に参考とする。

- ・学校見学が6回と少ない気がする。学校見学が増えるような施策を盛り込んだらよいのではないかな。
- ・教育委員会から学校へ話をし、郷土資料館へ見学に来るように働きかけて欲しい。

#### (2) 平成28年度事業計画について

##### 【審議結果】

大きな指摘事項等は無し。以下のような意見をいただいたので、今後の事業実施の際に参考とする。

- ・白井の歴史について中学校や高校で調べてもらう学習を教育委員会から学校に働きかけて欲しい。
- ・調べ学習の一環で郷土資料館へ足を運んでもらえるように中学・高校に働きかけて見るのも良い。
- ・学校側が来ないのであれば、こちらから出向いて行くという事で出前授業を行うのも良いのではないかな。
- ・博物館の学芸員は、最新の情報を常に仕入れておかないと対応できないので、展示会等を見学に行ける体

制づくりをお願いしたい。

- ・面白い工夫や解説をすると見る人も楽しめるのではないかな。

### 【議題（１）に関して各委員から出された質疑・意見等】

- 委員 来館者が昨年度よりだいぶ増えているようだが、これはどういう理由か。
- 資料館 小展示として古文書修補活動10周年の企画展に準ずる規模の展示を行ったこと。それに伴い講演会も行ったことで郷土資料館に来館される方が増えたと考えている。昨年と比較すると人数にして、4,000人程展示の見学者が増えている。
- 委員 10番目の資料の貸し出し18点となっているが、どのようなところに貸し出しをしているのか。
- 資料館 年報で詳細に報告するが博物館や古い写真が見たいというような希望もありその様な貸し出しをしている。
- 委員 来館者数のところで25,000人位という事で月にすると約2,000人でこの数字は外の施設と比較すると多いのか少ないのか。
- 資料館 同等の施設と比較したことはないが白井の人口と比較すると比較的来館いただいていると感じている。
- 委員 資料の購入1件とあるが、郷土資料館として予め予算を立てて購入しているのか、突然のことだから予算化できず何年かの懸案事項として要求を出して購入するのか。
- 資料館 備品購入費として5万円予算があるのでその範囲内で買える資料等を購入している。
- 委員 今回の古文書148点というのは、その範囲内で収まっているのか。
- 資料館 その範囲内で収まっている。
- 委員 具体的にはどのような資料を購入しているのか。
- 資料館 清戸村から出てきた古文書で名主の家から出てきた資料を購入した。
- 委員 具体的な名前を出すわけにはいかないか。
- 資料館 今整理中です。
- 委員 名主さんの名前を知りたい。
- 資料館 確認させていただいてからでもよろしいか。
- 委員 はい、結構です。
- 委員 これは購入ですか。
- 資料館 本屋から購入した資料です。
- 委員 展示解説の項目があるが、展示室の見学が12回、学校の見学が6回とあるが、学校見学はプラネタリウムと一緒にの見学か。その時に解説もしているのか。
- 資料館 単独で見学に来る場合とプラネタリウムとセットで来る場合もある。これは、解説をしたものが6回という意味である。自由見学は含まれていない。
- 委員 展示室見学12回というのは団体見学が12回という事か。
- 資料館 はい。
- 委員 例えばどのような団体が見学しているのか。
- 資料館 印西の歴史を勉強している団体、大学の授業の一環で見学させてほしいというものもあった。詳細は、年報の方に掲載させていただく。
- 委員 入館者で、外国人が来ることはあるか。
- 資料館 昨日1人見えた。年間でいうと1人か2人位であまり見かけない。
- 委員 ある程度の人数が居たら、展示解説できるのではないかと思ったもので。
- 委員 学校見学が6回と少ないような気がしますが、プラネタリウムは大勢来ているのは見かけるが、歴史を勉強するので小学校、中学校どちらでもいいのですが、学校見学が増えるような施策を盛り込んだらよいのではないかな。来年度の課題だと思うが。
- 資料館 今回解説を頼まれるところは少なかったが、自由見学をしていくところは多かった。解説を入れると時間がかかるので、昨年度については自由見学していくところが多かった。プラネタリウムを見た学校は、郷土資料館も見て行く。道具の解説などをしたもので自由見学は含んでいない。
- 委員 私も同様の話を何年かしているが、私が携わっている埼玉の博物館では、小学校では必ず授業の中で博物館でやる授業を入れてもらっている。白井の場合はプラネタリウムは、学校の授業の中に入っているが郷土資料館は入っていない。時間があれば見学するという事で、会長からもお話があったように、来てもらう方法を考えるんだったら、教育委員会の方からちゃんと話をしてもらって、プラネタリウムが授業で取り組めるのであれば、中学、高校だと難しくなるので小学校の高学年のうちに、自分の生まれたところや移り住んだところの歴史の副読本があると思うので、現場も見ていただいて学芸員から説明していただく。子供たちに今住んでいる故郷を植え付けてもらう事は必要だと思う。
- 委員 その通りである。とても大事なことだと思う。
- 委員 いくら郷土資料館で計画を立てて頑張っても、学校の協力が無ければ進まないことである。
- 委員 プラネタリウムよりも、郷土資料館を学校の授業に取り入れるのを義務化してもらいたかった。

- 委員 教育部長お見えですので、心のどこかに留めていただいて。
- 委員 郷土資料館を学校の授業に取り入れるのを義務化するの、色々な面で良い。
- 委員 引越したときに、必ずその土地の歴史が気になるので、郷土資料館や博物館に顔を出して学芸員の方とお話ししているうちにお手伝いをするようになったりしているので、お子さんが自分の住んでいる街がどうい街なのか郷土資料館や博物館で勉強する機会を作っていただくことも重要なことだと思う。
- 委員 せめて6年間のうち1回は郷土資料館に来てもらいたい。ただ、学校との関係は難しい。校長会や教頭会で話をしても、色々な事情で見学に来られない学校が結構ある。
- 委員 私ガイドの会をやっています、小学校の校長会に3年くらい前に出させて頂いて是非白井の歴史を説明しますので紹介させてほしいのでご利用願いたいとお願したところ1度も依頼が無くがっかりした。学校は歴史や郷土に関心が無いのかなと思った。教育基本法にそう言ったことが謳われていないのかと思った。
- 委員 年間スケジュールが決まってしまうと、そこに組み込むことが難しいと聞いたことがある。
- 部長 大変貴重なご意見を頂戴しました。今年度白井の教育大綱を昨年法律改正によって市長と教育委員会が総合教育会議というのを設けていてそこで協議をして、大綱が5月に策定されましてホームページ等で公開できるがその中で、4つの柱があり芸術文化等の振興という項目が入っている。
- その中で、地元の歴史や文化について学ぶ機会を設けることは重要なことなので、直ぐにという訳には行かないが、校長会、教頭会を通じて是非白井の郷土資料館、プラネタリウム含めて1時間のコマの中で2つのコマで片方が郷土資料館、もう片方がプラネタリウムというように柔軟に組めるプログラムがあれば来年以降検討していただくように私の方からもお話しさせていただきます。
- 委員 博物館に勤めていた時に学校の先生とお話しさせて頂いたが、博物館の見学に来るのに実際はどうかかわからないが、学校から歩いてくるのを体育の時間にカウントして、展示物を見ているのを社会科の時間にカウントすると細かくカウントしていると聞いたことがあるが今でもそうなのか。
- 委員 見学は、社会科の時間で往復の時間は何に使うんだという事で、時間で動いているので3時間のコマで行くとしたら1時間は社会科で往復の時間はどうすると決められた中で体育というのはどうかというのがありますし、三小の時に自由見学という形で見させて頂いて、4年生であれ6年生であれ来た時には見せて頂くのですが、プラネタリウムの場合は、授業のカリキュラムに沿ったことができるが、郷土資料館はカリキュラムにあるわけではないので地域に触れることは大切だけれども必ずしも触れなくてよいというところで自由見学でというのが多くなってしまふのはしょうがないのではないかと。
- 白井の小学校みんなそうだと思いますが、プラネタリウムに来て目の前にある郷土資料館を素通りというパターンは無いような状況になっていると思うので、そこで時間をゆっくりバスで帰ってくるのでバスの時間を有効利用するようにして、郷土資料館でお話を聞く時間も取ってあるので、少なからず回数を増やしていく。前回見られなかったところは今回見ましょうという形で見れるように時間を取るようにはしている。
- 委員 その辺の話を郷土資料館とする機会は無いのか。
- 委員 これから行きますという事でいくと、郷土資料館の方で職員が居て下さってお話しして下さるという形、質問にも答えて下さる。これ何ですかと子供が聞いた時に分からないで終わってしまうと子供たちが不完全燃焼で終わってしまうが、これはこうだよというように話をさせていただく機会は設けていただいているので、子ども自身は満足して今日このようなものがあつたよということで話してくれて満足しているようである。
- 資料館 職員の時間がある時には、先生がおっしゃった様な対応をしてみようかという事で、試しに第三小学校の時に、頼まれてはいないが職員が展示室に居て聞かれたら答えるという対応を一度試みたことがある。
- 時間を取るのが難しい時期もあるので、出来る範囲で行っていきたいと思う。
- 委員 将来の来館者でもありますので、学校との連携をよろしく願います。
- 委員 学校見学に関連してですが、白井市において博物館見学用のバスというのはあるのですか。
- 参事 市で教育号というバスを1台持っています、それが使えるときは、それを使用して使用できない時は委託なりで対応して手配してもらっているのが現状である。
- 委員 必ずしもいつでも自由に使えるという状況ではないという事ですか。
- 参事 外の行事も沢山あつたりして、対応できないこともありますのでそういったときは委託なりで対応するという状況である。

### 【議題(2)に関して各委員から出された質疑・意見等】

- 委員 27年度に実施したしろい文化財巡りは、28年度は実施しないのか。
- 資料館 28年度には行わず29年度に実施したいと考えている。内容が浮世絵なので、文化財巡りと関連させるのが難しいので、来年度実施した方が良いと判断した。
- 委員 企画展の内容のところ、3浮世絵にみる白井の情景(3)上棟式/狐火の展示は具体的にどのようなものか。
- 資料館 川上家の浮世絵を紹介しながら、白井でも上棟式、建前の写真が残っているので紹介し解説していく。狐火の話が白井に伝えられているので解説していく。以前狐火のイラストを描いていただいたのでそれを紹

介したり、こういうところで見られたという場所の風景写真を紹介したいと考えている。

○委員 狐火というのは、浮世絵のことか。

資料館 狐火の浮世絵はないので、不思議な浮世絵という事で物の怪の浮世絵と関連して、狐火を紹介しようと考えている。

○委員 ガイドの会で案内しているのだが、嶋治郎左衛門の碑の字読めないのだが、読めるか。

資料館 石造物調査をした時のデータがありそれを基に調査が昭和56年ごろのデータで今よりも状態が良いものがあるので、それを紹介しようと考えている。

○委員 個人で建てたものか。

資料館 そうです。

○委員 第2回目のペリー来航の時に、従軍した人と聞いている。

資料館 そうです。

○委員 旗本の所属で、その後静岡の方に行ったそうですが、養えないという事で戻って来たそうである。嶋さんもそうなんだそうである。

資料館 幕末の白井について紹介したいと考えている。

○委員 拓本は取られているのか。

資料館 写真が残っている。拓本は取っていない。

○委員 将来的には拓本は取っておいた方がよい。風化が進むといけない。

○委員 掃除にいつて読むと実際には読めない状態である。

○委員 ②の教育普及事業の方ですが、団体見学通年と書かれているが、小学校と歴史の団体と書かれているが何故、小学校に限定しているのか中学校、高校ましてや浮世絵などは小学生よりは高校生や大人とかの方がいいのではないか。

資料館 限定していない。等という所に含まれている。

○委員 中学校への普及活動の過去の実績は。中学校はどうか白井高校に関してはどうか。

資料館 中学校はあまりない。高校もこちらから声懸けというのではない。

○委員 今後は掛けて行くのか。会長の方からマンネリ化しているというご指摘があった。今までしなかったからしないのではなくて、これから、28年度新しく始まったわけですから意志はいかがでしょうか。

○委員 中学校の場合は、時間割の関係で団体見学はかなり難しいと、中学校の先生から聞いている。遠足などで博物館の団体見学を行うケースはあるが、授業時間内に博物館に来るとするのは中学・高校とも小学生以上に難しい。

○委員 南山中学校の生徒が2年間、地元の歴史だけでなく色々なことを調べてくる。その一環としてガイドの会の方に依頼があり、ほんの数名5、6名ですが法目地区や富ヶ谷、富ヶ沢地区を数名の中学1年生を案内した。非常に興味を持った子供たちで、中学生くらいになると勉強する意欲が違ふ。びっくりするほどであった。質問も的確な良い質問をする。機会を与えてあげれば勉強をするいい時期ではないか、こちらサイドの都合だけでやるのではなくて、生徒の都合で事情も考えて出来るだけ盛り込んでチャンスを作ってあげればいいのかと考えている。感想文も実によく勉強されて書かれている。嶋治郎左衛門の所も見学した。熊野神社、佛法寺を見学した。富ヶ谷、富ヶ沢という地名何故そういう地名があるのかという質問があり富ヶ谷の先に富ヶ沢があるという説明をして中学生たちは感心していた。フィードバックがあった。案内して良かった。生徒達も関心の度合いが高い。

郷土に対する関心は小学生よりも、中学生の方が高いように思われた。

○委員 中学校の場合、あるテーマについて調べるためにグループで来館する場合がある。小学校とは異なる利用形態について、中学校の先生と検討する必要があるのではないか。

○委員 教育効果は、上がるのではないか。チャンスを作ってあげなくてはならない。

○委員 授業中に来るのか。

○委員 そうです。授業でガイドの会を活用するという事があって、それ以外にも地元のメーカー等に行って話を聞いてくるとか、梨農家に行って話を聞くと色々な項目があり、その一つとして、歴史探訪を2年間南山中学校の先生から、依頼を受け、実施しました。

○委員 昔社会人講座というのをやっていて、日を区切って1時間を借りてやっていた。それとは違うんでしょうけれどそれはウィークデーか。

○委員 はい。ウィークデーです。

○委員 何回くらい生徒さん見えたのか。

○委員 数名の生徒である。年1回である。

○委員 テーマを決めて、数人でやるのか。

○委員 その中のグループが郷土の歴史を勉強したいという事で案内した。

○委員 朝日新聞の事業だと思うが、朝日新聞の方で取りまとめて、何何班という事でやっていた。

調べてきたことを報告していた。白井の歴史のことを報告していたので、ああいいことをしているなど思った。そういうことが大事であるが、そういう事に気がつかない、気がつけばそれにどんどん乗って

あげて、白井の歴史をどんどん調べてもらう。古里会長も西アジアのことを調べたりして、そういったことを中学校でもやって頂きたいと思う。中学校の校長も生徒に任せておくのではなくて教育委員会も新しいことをやれと言わない限りダメだと思う。校長自身がカリキュラムで決まっているから駄目だと思ってしまふから、先生方も新しい事業をやるのは嫌がる。どうしてかという、企画運営任されますので、新しいことは嫌いなものですからそういくことは上から積極的に挙げてもらうと言いますか、せつかく今日部長さんが見えているのですから、小学校よりも中学校、高校とより現実的になってくる。事業のやり方次第で史学科に進むかどうか違ってくる。我孫子では高校の方が出向いてきていたので、白井高校にもその様な形で働きかけて行くのがいいのではないか。高校は、色々な地域から来ているが、教育長から白井の歴史を調べてもらいたいというような働きかけを校長にしていく方が良いのではないか。そういう働きかけをするかしないかでかなり違ってくると思う。職員二人だけではなく、上司から働きかけて協力していくシステムにしていかないと、白井の歴史は動かずマンネリ化していくのではないか。

- 委員 南山中学校のような調べ学習は、郷土資料館には来ていないのか。
- 資料館 来ていません。中学生は来ているのかもしれないが、窓口の問合せや学校からの問合せも去年は無かった。
- 委員 勤めていた頃鎌倉街道について、調べている生徒がたくさん来て聞いてみたら、夏休みの宿題か何かで鎌倉街道について調べよという課題が出てきたというのを後から聞いた。どちらにしても、中学、高校は、学校ぐるみで団体見学というのは難しい。ご意見が出たように、調べ学習の一環で来てもらうというような、何らかのアクションを起こしてみるのはいいかもしれない。白井高校は郷土資料館があることも知らないかもしれないので、宣伝してみるのもいいかもしれない。
- 資料館 去年は、企画展のポスターを送ったりしている。今年もポスター等は送るつもりである。
- 委員 あまり見ないのではないか。一言セールスを添えて見るのが良いのではないか。
- 委員 白井に来て10年になるが、歴史的には無いのかなと思っていたが、色々調べると昔の奈良とか大和朝廷との関わりがあると思われる。興味深いものは鳥見神社も価値のあるものですし、白井出身の有名な方も何人かいるので、鎌倉幕府の執権の役割をしたような方も出ていますし、寛永寺の住職をした方も出ています。鳥見神社は300年頃神武天皇が奈良へ攻めてきた時、逃げてきた人達が創建したと言われている。非常に歴史的には興味深いものが沢山ある。10年住んでいてわかるようになってきた。鳥見神社のために奈良に4.5回行っている。奈良と関わりがあるんだと自覚しまして、白井の歴史に興味を深めている。
- 委員 資料3の下から2行目、職員の派遣とあるが市主催の講座への派遣とあるが、具体的にはどのようなことがあったのか。
- 資料館 市民大学校への派遣があった。後は団体からの講師依頼もここに含んでいる。
- 委員 私は、2、3の市でお手伝いをしているが、出前授業というのがある。先生が、往復で郷土資料館に足を運ぶのが厳しいという事であれば、年間通じて行くのもいいのではないか。白井には小学校は何校あるのか。
- 部 長 9校です。
- 委員 夏休みや冬休み抜かして月1回でも順番に出前授業やれば、30分でも1時間でもやれば、学年を区切れれば講堂とか体育館で簡単なお話で興味を持ってもらえればいいのではないか。向こうが来なければこちらから出向いて行くということで、出前授業を取り入れてもいいのではないかと思う。
- 委員 最近やっていますが、受入側と出す側が一致しなければ難しい。
- 委員 今年度無理でも、どこかですり合わせてやってもらえればいいのではないか。
- 郷土資料館、文化課で集まっている資料は、大事にしまっておくばかりのものではない。例えば、小学生の授業で使えるような簡単な民具をライトバンで積んでいけるような物を授業で活用してもらうのもいいのではないか。視察に行った先で、頂戴する物は頂戴する。同じものが集まることのある時に話をし、ダブれば近隣の市町村で不足が生じればそれで補う。そのことを、前もって話をし受け入れると、資料をまとめて整理しておけば、あげた方も喜んでくれるし受け入れた方も助かるし中には学校で余裕があれば教室で色々な物を保管してもらって、その教室は郷土資料室というようなことで活用していくというのは、隣の鎌ヶ谷市で行っている。その外に、教室を改装して、昔の机やいすを展示してあった。空き教室やそういう民具があればそういうことはしてもらえらるだろうし、子ども達も話をすれば壊すようなことはしないだろうし予備に持っているので有効利用できるのではないか。そういう事を通じて郷土資料館と学校の交流を深めて行けばいいのではないか。そうすることによって、学校からも足を運んでいただけるのではないか。
- 委員 寄贈を受けるときに、収蔵品台帳で永久保存で受ける場合と体験学習などの学校の授業で使うような備品として受ける場合として寄贈を受けるケースはあるか。
- 資料館 もらう時に資料によっては、使い方を確認する。壊さないでほしいという場合は、保存という形になる。壊れても大丈夫という場合は、体験等で使用し、確認や了承を頂く。
- 委員 先ほどの出前授業の話だかこちらから出向いて行くわけにもいかなかったので、プログラムを作ってリクエストに応じて出かけるようにして作ったが、実際リクエストは中々無かった。やり方次第でしようけれども希望があれば応じるという体制は作っておいた方がいい。

資料館 実績としては昨年白井中学校の方に、戦争の体験という事で、郷土資料館の資料を貸して展示をした。外にも学校の先生から道具を貸してほしいというような要望があった時には対応している。実際に大丈夫な資料についてはお貸ししている。

○委員 研修への参加とあるが、千葉県博物館協会への参加以外には、こういった研修に参加しているのか。

資料館 今は博物館協会の研修しか参加していない。

○委員 前回も古里会長から話があったと思うが、博物館の学芸員は新しい情報を常に仕入れておかないと色々なことに対応できない。博物館協会の研修もいいのですが外の博物館がどういう普及活動をしているかとか展覧会をどうしているかとかは実際に見て見ないと分からない事なので見に行ける体制を作っていただきたいと思う。都内も楽に行けるようになっていく。

資料館 それは個人的にという事か。

○委員 個人ではなく公務としてである。

資料館 現状では個人的に行っているような状況である。

○委員 出来るだけ公務で出て、仕事にフィードバックさせることが重要だと考える。

○委員 それはむしろ部長さんに、言わないと。

○委員 多くの博物館を見ることは展示及び教育普及活動にとって有益なことなので、職員の方々を色々な博物館に出張させてほしい。即効性はないが蓄積された情報は、必ず白井の資料館にフィードバックされる。

参 事 予算の関係もあるが、決して他館に行く暇が無いとか予算が無いとかそういう事ではなく、プラネタリウム館ですが、近隣のプラネタリウムに視察に行ったりしています。あそこもライブでやっていて常に情報を新しくしようという事で近隣の館に視察に行っている。郷土についても、そういった形で出せますが、現在学芸員が一人という状況がありますが、その様な体制は組んでいきたいと考えている。

○委員 展示と普及活動の予算が少ないのではないかと。近隣もそうなのか。

資料館 比較したことはないのだからわからない。展示に関しては千葉市美術館の方に浮世絵を確認して頂いて、メールなどで教えていただきながら準備を進めているところです。

浮世絵は専門外であるので、専門家の意見を聞きながら準備していきたいと考えている。

○委員 八千代の郷土資料館の特別展示を18日に見に行くのですが、あそこは現代から過去にさかのぼってうちと逆で将来はどうかという所まで作成している。印西の歴史資料館も見学しましたが、独特の展示をしている。館によって展示の仕方が違うようである。

○委員 浮世絵のことなんですがサントリー美術館でやっていますが、結構面白かった。本物の浮世絵と現代の浮世絵と比較するような展示で1人の学芸員では出来ないもののように感じた。面白い工夫や解説をすると見る人も楽しめるのではないかと。

○委員 平成28年度白井市郷土資料館運営協議会の議事を終了する。

#### 4 その他 特になし

#### 5 閉会